

2015-B

拠出金・基金の
名称

アフガニスタン・インフラ信託基金(AITF)

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】アジア開発銀行

【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局国別開発協力第三課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

カブール北部道路の一部整備(難所であるサラン峠を含む約90km)を行い、中央アジアから内陸国であるアフガニスタンを経てインド洋に抜けるルートである中央アジア・アフガニスタン・パキスタン間の連結性を高め、安全な輸送を確保し、アフガニスタンを地域・世界経済に統合するための地域協力を推進する。これにより、中央アジア、パキスタンを含めた地域の経済活性化に貢献する。また、本件道路の整備を通じ、雇用を緊急に創出する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	165,000	1,500		1米ドル = 110円	100
平成26年度	291,000	3,000		1米ドル = 97円	100
平成25年度	1,066,000	13,000		1米ドル = 82円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

アフガニスタンが自立的な経済運営と持続可能な開発を進めていくためには、パキスタンや中央アジア等周辺諸国との連結性を高め、地域経済に統合されていくことが不可欠。本件拠出金を通じて、交通・エネルギー等アフガニスタン国内のインフラを整備することにより、豊富な資源を有する中央アジアから、海港があり市場規模の大きいパキスタンにかけて、物資・エネルギーの安定的な供給が可能となり、アフガニスタンを中心として南アジアから中央アジアにかけての広域な地域で経済活性化が期待される。